

懇談会にご参加いただき、ありがとうございます。

懇談会の開催にあたり、 オンライン形式でご参加の方へのお願い

- ノイズ防止のため、マイクは「ミュート」に設定をお願いします。
- 通信環境を安定したものとするため、カメラは「オフ」に設定をお願いします。



開会まで、今しばらくお待ちください。

第6回西荻窪駅周辺まちづくり懇談会

令和4年3月19日(土)

午前10時30分～12時30分

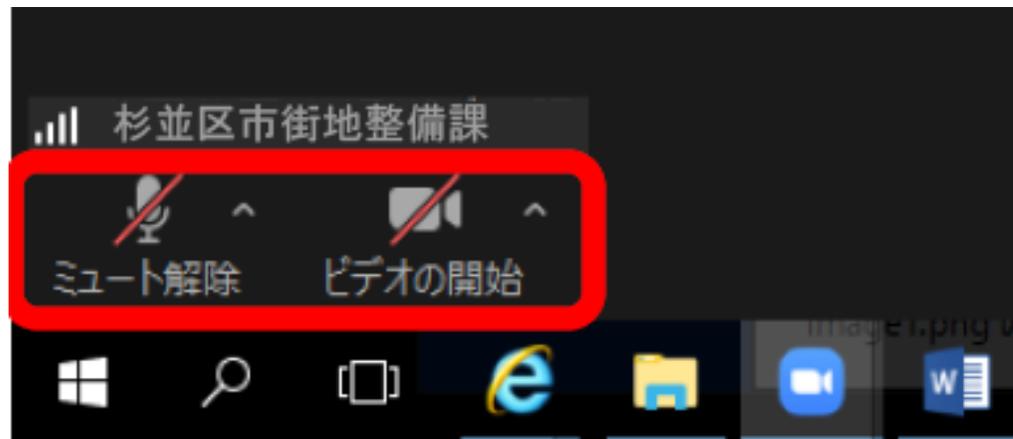
杉並区 都市整備部 市街地整備課 拠点整備係

オンライン形式でご参加の方へのお願い

スマホ



PC



●マイクとビデオの設定

★説明している間

- ・マイクをミュート
- ・ビデオをオフ

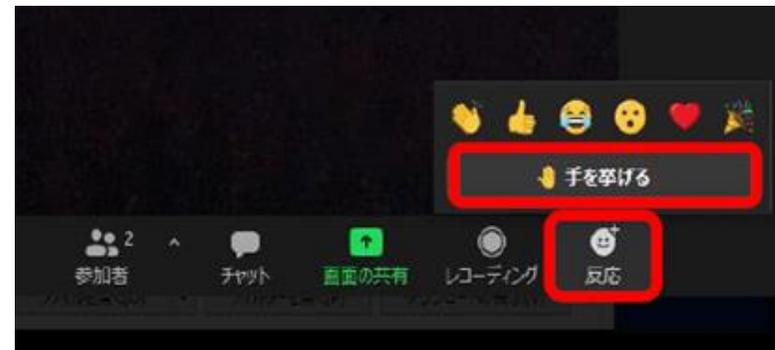
★意見交換の時

マイク・ビデオを
オン

オンライン形式でご参加の方へのお願い

●発言方法について

- ① 「手を挙げる」をクリックします。
人数を把握するため、発言を希望する場合は挙手をお願いします。



- ② こちらからお名前をお呼びします。
挙手された順番でお呼びします。
お名前を呼ばれた方は、**マイクとビデオを「オン」**にしてお話しください。

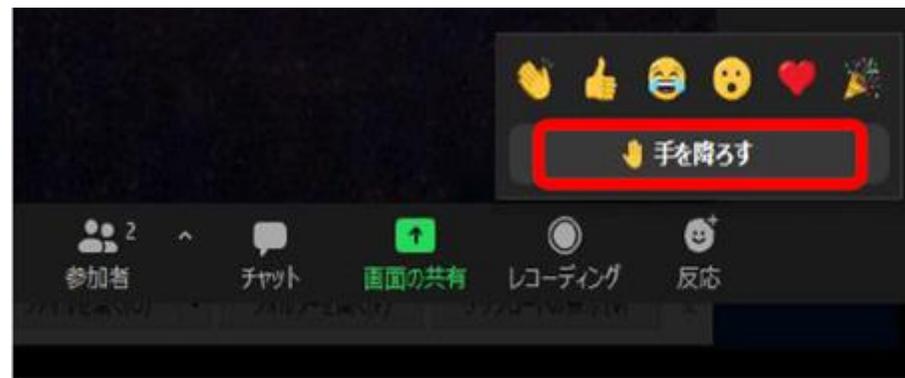
オンライン形式でご参加の方へのお願い

●発言方法について

- ③ 発言が終了しましたら。
マイクとビデオを「オフ」にしてください。



- ④ 「手を降ろす」をクリックします。
画面の下部にある「反応」に
カーソルを当て、「手をおろす」を
クリックしてください。



オンライン形式でご参加の方へのお願い

●発言の順番について

① 対面形式でご参加の方



② オンライン形式でご参加の方

本日の次第

1. これまでの懇談会等の意見の振り返り

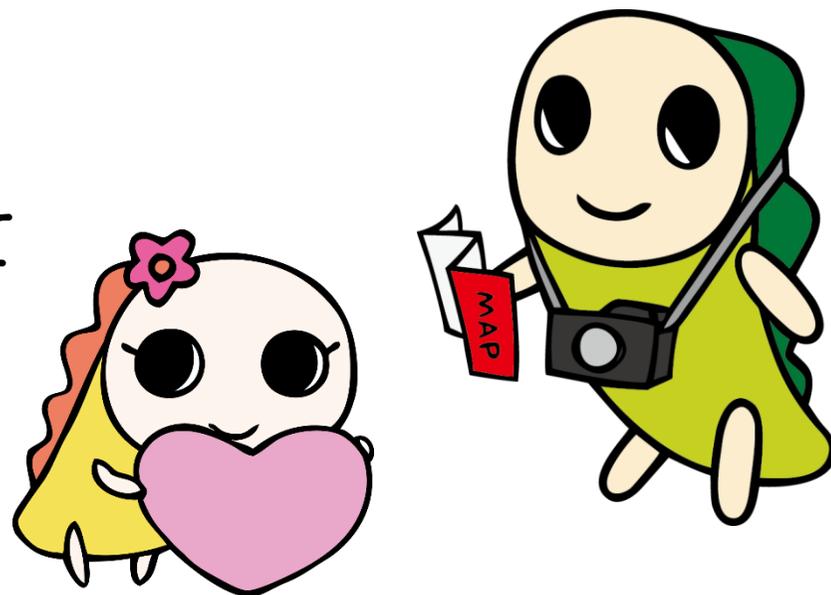
- (1) まちづくり懇談会等の取組経過
- (2) 第5回懇談会での主な意見
- (3) オープンハウスでの主な意見

2. 参加者同士の意見交換

- (1) 「西荻窪駅周辺まちづくり方針」の策定について
- (2) 進め方について
- (3) 意見交換

3. 今後の進め方（予定）について

4. 閉会



1. これまでの懇談会等の意見の振り返り

1. (1)まちづくり懇談会等の取組経過

まちづくり懇談会等のこれまでの取組

平成30年度より
懇談会開催

西荻窪駅周辺まちづくり懇談会等 開催

平成30年度

西荻窪駅周辺まちづくりに関するアンケート調査実施

第1回 まちづくり懇談会開催 平成30年12月 9日

第2回 まちづくり懇談会開催 平成31年 2月 3日

令和元年度

第3回 まちづくり懇談会開催 令和元年 7月 6日

第1回 テーマ別部会 開催 令和元年 9月 8日

第2回 テーマ別部会 開催 令和元年11月10日

第3回 テーマ別部会 開催 令和2年 1月26日

令和2年度

第4回まちづくり懇談会(オンライン)開催 令和3年 3月 21日

令和3年度

第5回 まちづくり懇談会開催 令和3年10月 23日

令和3年度都市計画道路補助132号線パネル展示
(オープンハウス) 令和3年12月17・19日

1. (2) 第5回懇談会での主な意見について

第5回 西荻窪駅周辺まちづくり懇談会

【開催日時】令和3年10月23日(土) 10時30分～12時20分

【場所】西荻地域区民センター(勤労福祉会館)

【参加者】26名(対面形式:12名、オンライン形式:14名)、他 傍聴2名

第5回懇談会では、区より、まちづくり方針の策定についてや、第4回懇談会でいただいた主なご意見の紹介、前提条件となる杉並区まちづくり基本方針、都市計画道路の概要等について説明し、意見交換を行いました。

直接会場に来ていただく対面形式と、オンライン形式を併用したハイブリッドタイプによる、まちづくり懇談会を開催しました。



懇談会 会場の様子

1. (3) 第5回懇談会での主な意見について

- 多様な意見のとりまとめは重要。回を重ねることで互いに違う意見をすり合わせるしかないと思う。拡幅大賛成という立場もあると思うが、その事も紹介してほしい。
- テーマ別部会等を出してきた意見は、今後どのように活用するのか。過去の意見を復習すれば良かったと思う。
- 障害者や高齢者等の多様な人の意見を聞く必要がある。
- 懇談会では道路整備を前提として西荻窪駅周辺をどのようにしたいか話し合える場にしたい。
- 方針を取りまとめても実現できなければ意味がない。
- 何度か懇談会に参加しているが、進展していないように思う。前提や目的を明確にして、具体的な話をする必要がある。
- 道路整備事業の説明は、非常に大切な要素なので、懇談会の第1回目に行うべきだったと思う。
- 道路整備や駅南口の土地利用等、行政で把握していることを適宜情報共有してほしい。

- 会場に道路整備担当も一緒に来て説明してほしい。
- 懇談会の対象区域は、道路整備事業の反対派を排除するために設定したのか。沿道を含めて、対象区域を広げるべき。
- 東京女子大に向かうバス通りの運用を変えることで、まちづくりに良い影響を及ぼすのではないか。
- 道路整備による防災対策よりも、災害時に助け合いができる人間関係を築くことが有効だと思う。
- 防災やまちの賑わい等を解決できる、まちづくりの手法などについて勉強会を行い、みんなで検討したい。
- 道路整備の歩道に関して、障害者への配慮やユニバーサルデザイン等の内容を踏まえたうえで、障害者のニーズをお伝えしたい。
- 懇談会に、道路整備に関わる当事者を呼びべき。
- 参加メンバー対区役所という対立形式になってしまったのが残念。参加メンバー同士の意見交換ができる時間があると良い。
- 道路整備によりメリットがあると資料に記載されているが、失うものはどこにも記載されていない。

1. (3) オープンハウスでの主な意見について

令和3年度 都市計画道路補助132号線パネル展示(オープンハウス)

【開催日時】令和3年12月17日(金) 14時00分～19時00分

【場所】西荻南区民集会所 【参加者】65名

【開催日時】令和3年12月19日(日) 13時00分～18時00分

【場所】西荻地域区民センター(勤労福祉会館) 【参加者】47名

オープンハウスでは、都市計画道路補助132号線の事業認可取得や用地取得等に関する内容と、西荻窪駅周辺まちづくりに関する取組経過や今後の進め方等についてパネルを展示し、いただいたご意見・ご質問に対して職員が説明を行いました。



西荻南区民集会所 会場の様子

1. (3)オープンハウスでの主な意見について

- 道路とまちづくりを合同でオープンハウスを開催したのは良かったと思う。
- まちづくり懇談会の参加エリアを拡大し、より多くの住民との話し合いの場を複数設けるべきだと思う。
- 地上げから街を守るために、特に駅周辺について、具体的に出来る範囲の街づくりをアピールしてほしい。
- 防災面でもこの道路を最優先にする必要なし。駅周辺の開発も心配。さらに南側も広げるとなると無理がある。
- 安全な街になるように、引き続き進めていただきたい。西荻南側も先に燃えにくい区画にいただきたい。
- 西荻窪駅周辺が狭いうえに、車（バスを含む）の往来が多く危険だと感じていた。
- 70年以上前戦争が終わった直後に決まった都市計画であり、50年以上も前に都市計画変更されたもの。旧都市計画法の時代だったから、住民の意見を聞かずとも、進めていいという行政の在り方は、民主主義に反する。
- 工事施工中も歩きやすくしてほしい。丁寧に説明していただき内容が理解できた。

- 緑豊かなまちづくりに励んでほしい。子供達が安心して通学できる環境にしてほしい。
- 意見を言える場を作っていただき大変ありがたい。まだ不明な点が多くあるが、これからも説明会を開いていただき、解決していただきたいと思う。
- 障害者にとっても住みやすいまちづくりと道路づくりを進めてほしい。
- 駅前の街づくりにあたっては、現在の事業者が事業を続け、街並みを維持できるように配慮してほしい。
- まちづくりの中に環境問題の観点を組み込んでほしい。
- 道路拡幅予定用地をポケットパーク、イベントスペース、駐輪場、緑化など有効に活用しながら、町の良い雰囲気をつくってほしい。
- 道幅の狭さは良くもあり悪くもあり、特に古くから住む方々には難しい問題かと思う。
- 西荻地域の個性的な良さ（小さな個人店、古い建物の町並みなど）を考えると、道路拡幅は色々なメリットを踏まえてもなお、今この町でやる必要があるのか大いに疑問。

2. 参加者同士の意見交換

2. (1)「西荻窪駅周辺まちづくり方針」の策定について

東京都市計画
都市計画区域の整備、開発及び保全の方針
(都市計画区域マスタープラン)

杉並区基本構想(10年ビジョン)※令和3年12月時点
○杉並区総合計画 ○杉並区実行計画

交通拠点である駅を中心に、地域の特性を生かした商業の活性化や生活利便性の向上を図り、にぎわいと多彩な魅力あるまちづくりを進める。

杉並区まちづくり基本方針
(杉並区都市計画マスタープラン)

地域別方針

井草地域

西荻窪地域

荻窪地域

阿佐谷地域

高円寺地域

高井戸地域

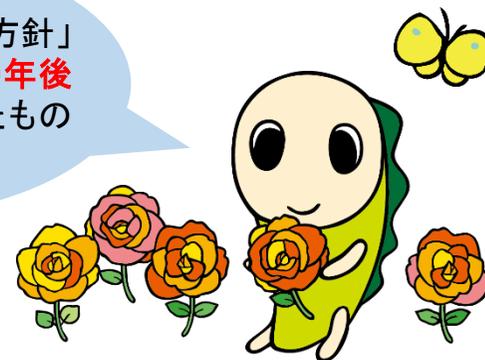
方南・和泉地域

西荻窪駅周辺まちづくり方針

「西荻窪駅周辺まちづくり方針」とは

『杉並区まちづくり基本方針(杉並区都市計画マスタープラン)』の地域別方針(西荻窪地域)を**補完**し、まちの将来像やその実現に向けた取組の方向性を示す「**まちのグランドデザイン**」として、個別具体の取組への**橋渡し**を担うものです。

「杉並区まちづくり基本方針」にあわせ、**おおむね20年後の未来を視野に**いれたものとしてします。



※現在の杉並区基本構想、杉並区総合計画、杉並区実行計画は、令和3年度(2021年度)をもって終期を迎えます。

令和4年度(2022年度)からは、新たに策定された

杉並区基本構想、杉並区総合計画、杉並区実行計画の始期となります。9

2. (1)「西荻窪駅周辺まちづくり方針」の策定について

東京都市計画
都市計画区域の整備、開発及び保全の方針
(都市計画区域マスタープラン)

杉並区基本構想(10年ビジョン)※令和3年12月時点

○杉並区総合計画 ○杉並区実行計画

交通拠点である駅を中心に、地域の特性を生かした商業の活性化や生活利便性の向上を図り、にぎわいと多彩な魅力あるまちづくりを進める。

杉並区まちづくり基本方針
(杉並区都市計画マスタープラン)

地域別方針

井草地域

西荻窪地域

荻窪地域

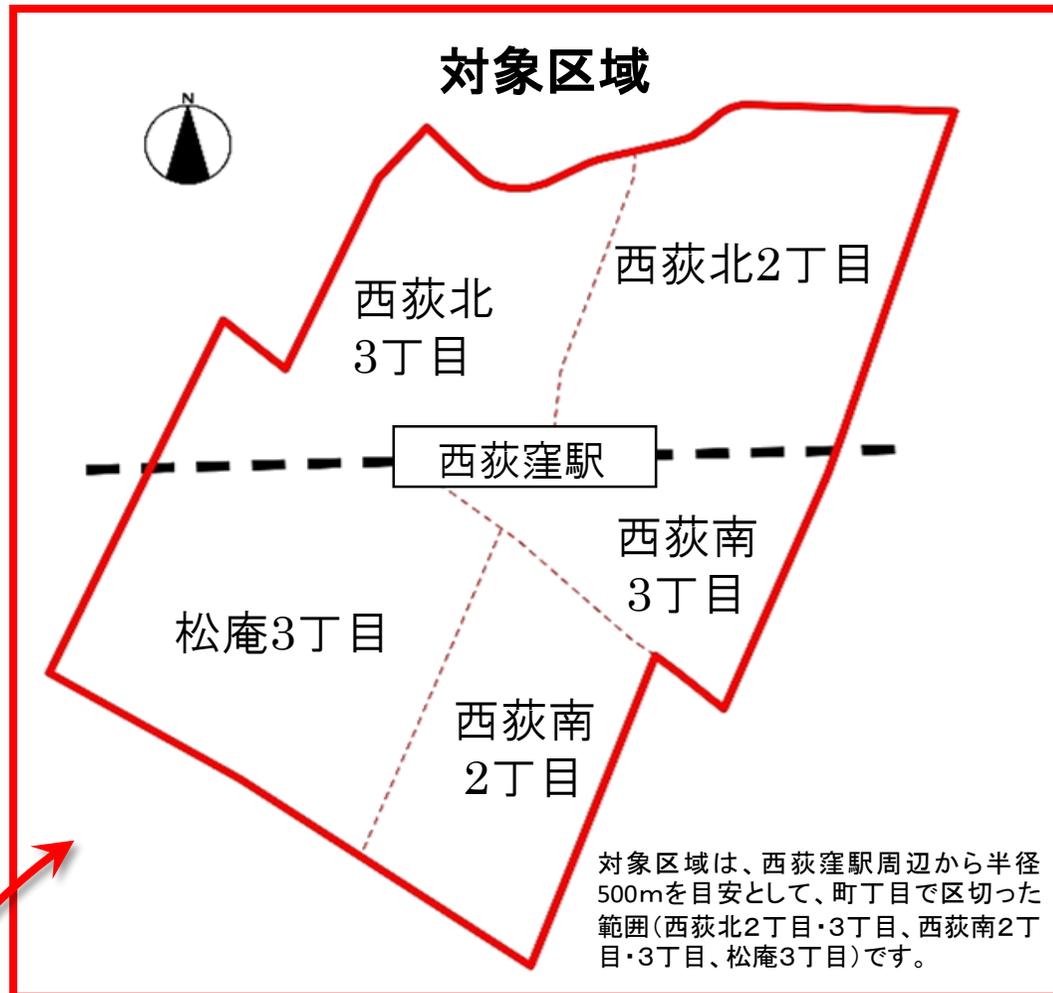
阿佐谷地域

高円寺地域

高井戸地域

方南・和泉地域

西荻窪駅周辺まちづくり方針



まちづくり懇談会の目的

「西荻窪駅周辺まちづくり方針」の策定に向けて、地域の皆さまからご意見をいただくことを目的に懇談会を開催しています。今後、いただいたご意見を踏まえ、区が方針の案等を作成し、これらについて、さらにご意見を伺う予定です。

2 西荻地域

1 良好な街区基盤を活かした低密度住宅地の保全

1-1 善福寺公園を中心とした成熟した住宅地の保全

- 善福寺公園周辺の風致地区を含む街区基盤の整った比較的規模の大きな一戸建住宅を中心とした成熟した住宅地については、みどり豊かなゆとりのある低密度住宅地としての住環境を保全・育成します。
- 屋敷林・生け垣などの豊かなみどりを持つ敷地規模の大きな一戸建住宅街区については、現在の土地利用が維持されるよう誘導を図ります。
- 住宅の建替えに際しては、敷地の細分化を抑制し、共同住宅への更新に際しては、周辺環境に配慮したものとなるように誘導を図り、大規模敷地を活かしたみどり豊かな風格ある住宅地の保全・育成を図ります。
- 今川3丁目周辺などの農地・樹林地街区についても、現在の土地利用が維持されるよう誘導を図り、こうした農地及び駐車場の宅地化に際しては、小規模宅地への更新(敷地の細分化)、袋路(行き止まり路)の形成を抑制し、



大規模敷地を活かして、みどり豊かなゆとりある街区的にまとまりのある低層住宅地開発となるように誘導を図ります。

1-2 街区特性に応じたみどり豊かな住宅街区の保全

- 西荻南4丁目などの土地区画整理事業により街区基盤が整備されている地区については、住宅の建替えに際して、宅地の細分化防止や周辺の住環境に配慮した共同住宅の建設誘導、宅地の緑化の推進などにより、住環境の保全と住宅地より一層の魅力づくりを図ります。
- 上荻や西荻北などの中小規模の戸建住宅地や共同住宅地として既に比較的高密度の高い土地利用がなされている住宅街区については、敷地・街区の状況に応じて、生け垣や植栽スペースの設置など道路境界を中心に敷地まわりの緑化を誘導し、みどり豊かな街区環境の保全を図ります。
- 中小規模の戸建住宅の建替えにあたっては、敷地の細分化を抑制し、共同住宅への更新に際しては、周辺環境に配慮したものとなるように誘導します。

1-3 街区基盤を活かした住宅街区の修復

- 東京女子大学周辺や西荻窪駅周辺など、木造アパートなどの小規模な老朽木造住宅等の密集する街区については、良好な道路基盤を活かしながら敷地の共同・協調的利用を促進し、建物相互の日照や通風などの相隣環境の確保、建物の不燃化誘導、緑化スペースや公開空地などの建物まわりのオープンスペースの創出を誘導し、街区の防災性の向上、街区

景観の形成を図ります。

- J R中央線沿線については、中小規模の商業・業務施設や共同住宅の立地を適正に誘導し、建物の不燃化などを進めることにより、鉄道沿線の延焼遮断帯としての機能の向上を図ります。

2 街区基盤の整備による低密度住宅地の形成

- 神明通りより南側の住宅地については、建替えにあわせた狭あい道路の拡幅整備により、中小規模の一戸建住宅や共同住宅が調和する落ち着いた住環境の保全・育成を図ります。
- 商店街周辺の比較的高密度な住宅地では、木造アパートなどの共同・協調的建替えを誘導し、建物の耐震化・不燃化や狭あい道路の拡幅整備、敷地まわりのオープンスペースの創出など、住環境の改善を図ります。
- J R中央線より南側の地区については、公園・広場が不足している状況を踏まえて、身近な公園・広場の充実を図ります。

3 西荻窪駅周辺の地域生活拠点の充実と都市計画道路の整備促進

3-1 西荻窪駅周辺の地域生活拠点の充実

- 西荻窪駅周辺は、落ち着いた住宅地や東京女子大学の立地、アンティークショップの集積などを背景として、文化的で洗練されたイメージを持つ区を代表する個性的な商業・業務地及び区民交流の場となる地域生活拠点として充実を図ります。
- 自転車利用者のマナー向上を喚起するとともに、

に、自転車駐車場を充実し、商店街としての歩行環境や買い物環境の向上を図ります。

3-2 都市計画道路補助132号線の整備の促進

- 駅へのアクセスルートの強化や歩行環境の向上、駅南口の広場機能の充実などの観点から、都市計画道路補助132号線(青梅街道~神明通り)の整備の促進を図ります。
- 都市計画道路補助132号線の整備にあたっては、沿道等の建物の共同・協調的建替え、耐震化・不燃化建替えを誘導し、後背住宅地の住環境に配慮した土地利用を図るとともに、みどりの軸や駅前通りとして地域のシンボルとなる沿道景観づくりを進めます。
- 神明通りについても、歩行者空間充実の観点から主要生活道路として整備を検討し、商店街としてのまちなみ形成の誘導、都市計画道路補助132号線との交差点部などの交通安全対策を検討します。

4 青梅街道等の沿道型土地利用の推進

4-1 青梅街道等の沿道型土地利用の推進

- 青梅街道及び環状八号線については、後背の住宅地への段階的な建築形態を誘導し、沿道の中高層化、耐震化・不燃化、街路樹などのみどりの育成を図り、延焼遮断帯やみどりの軸を形成していくとともに、商業・業務施設と住宅が調和する魅力的な景観形成を図ります。
- 環状八号線沿道については、住宅の交通騒音の改善などを図るため沿道環境整備事業を推



第5章 地域別方針 (2 西荻地域)

進します。

- 早稲田通り、女子大通り沿道についても、後背の住宅地に配慮した建築形態、近隣商業等と住宅が調和する土地利用を図り、避難路等としての機能の向上を図ります。



4-2 五日市街道等の旧街道の面影を残す沿道景観の形成

- 五日市街道周辺については、豊かな屋敷林を持つ一戸建住宅や農地・樹林地の保全に努めます。また、五日市街道沿道及び井の頭通り沿道については、こうした屋敷林や農地のみどりを保全・活用し、旧街道の歴史や新たな沿道型商業施設の立地を活かした、魅力的な沿道景観の形成を図ります。

5 善福寺公園周辺のみどりの拠点の形成、善福寺川流域のみどりと水の空間軸の形成

5-1 善福寺公園周辺のみどりの拠点の形成

- 善福寺公園の未整備区域の整備を促進するとともに、避難場所に位置づけられている東京女子大学、井草八幡宮などの樹林を保全・育成します。

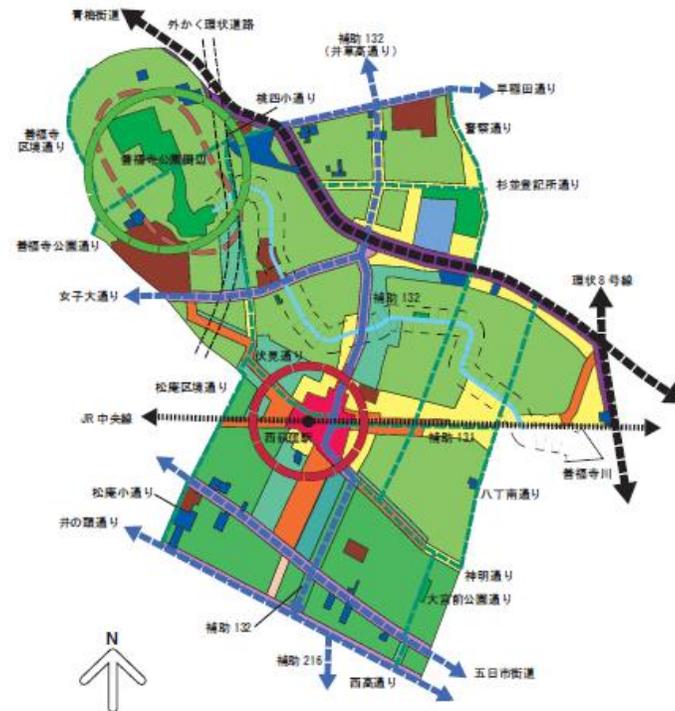
- 善福寺公園周辺の風致地区を中心に、大規模な住宅敷地、農地・樹林地を可能な限り保全するとともに、屋敷林・大木・生け垣などの住宅敷地のみどりの保全・育成などにより、善福寺公園を中心とした面的に広がりのあるみどり豊かな住宅地の形成を図ります。
- 景観モデル地区に指定している善福寺公園周辺の風致地区を中心とした地区については、景観形成重点地の指定のみどりの保全策を中心としたルールづくりなどを検討していきます。

5-2 善福寺川流域のみどりと水の空間軸の形成

- 善福寺池を源流とする善福寺川流域については、河川沿いの歩行者プロムナードや個性的な公園・緑地整備を進め、橋及び橋詰や護岸の修景、河川流域の宅地の樹木の育成や建物の窓辺などの緑化などを進めることにより、貴重な河川資源を活かした水と親しめる空間づくりを図ります。
- 善福寺川につながる公共溝渠(旧農業用水路)や既存の道路を活かして、安全で快適な歩行者空間のネットワーク化を図ります。



西荻地域【まちづくり方針図】



(注) 道路名称については、一時的に使われているものに便宜上つけたものも含まれている。

低密度保全型住宅地区	補助幹線道路(重点路線)
低密度基盤改善型住宅地区	主要生活道路
中低密度個別改善型住宅地区	外かく環状道路
中低密度基盤改善型住宅地区	景観形成モデル地区
中密度個別改善型住宅地区	みどりの拠点
中密度基盤改善型住宅地区	みどりと水の空間軸
商業・業務集積地区	学校施設・運動場等
近隣商業街地区	主な公園・緑地
幹線道路沿線地区	主な農地・樹林・社寺地等
補助幹線道路沿線地区	河川
住宅団地地区	
地域生活拠点	
幹線道路	
補助幹線道路	

2. (1)「西荻窪駅周辺まちづくり方針」の策定について

～具体的な取組～

西荻窪駅周辺では、今後の具体的な取組として、これまでの懇談会や引き続き開催する懇談会等で、いただいたご意見を踏まえて、以下の内容について検討を進めます。

ステップ1

まちの将来像

『杉並区まちづくり基本方針』等の上位計画を踏まえて、区民・事業者・行政が共有する、「まちの将来像」の検討を進めます。

ステップ2

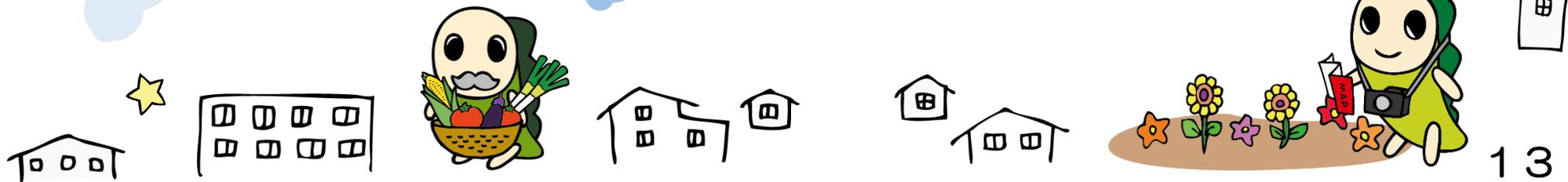
まちの目標

まちの将来像の実現に向けた、「まちの目標」の検討を進めます。

ステップ3

取組の方向性

まちの将来像と目標の実現に向けた、「取組の方向性」の検討を進めます。



【参考】荻窪駅周辺まちづくりの取組について

将来像 —住宅都市杉並の芯として 歴史文化を礎に にぎわいと住環境が調和したまち—

荻窪駅周辺は、区内最大の交通結節点であり、商業・業務、公共サービス、文化・教育などの都市機能が集積した、杉並を代表するにぎわいの中心(都市活性化拠点)です。また、歴史的・文化的資源が数多く点在し、みどり豊かな住環境が広がる、住宅都市杉並を代表するまちです。

こうした荻窪駅周辺のまちの特長や個性を生かしつつ、課題である駅南北の連絡機能の強化や回遊性の向上、防災性の向上などに、ハード・ソフトの両面から取り組むことにより、その魅力を更に高め、にぎわいと住環境が調和した、住み続けたい、訪れたいまちを目指します。



荻窪駅周辺では
まちの将来像を
 踏まえて、**4つの**
目標を位置付け
 ています。



【参考】阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくりの取組について

■将来像

○杉並の安全を支える防災中枢拠点
○にぎわいとみどり豊かな住環境が
共存し住み続けたいまち

阿佐ヶ谷駅・南阿佐ヶ谷駅周辺は、両駅が約600mの距離で近接し、区を代表するケヤキ並木の景観や、イベント、文化活動、商店街等のにぎわいや利便性と、後背のみどり豊かな閑静な住環境が共存した、成熟したまちです。

また、区役所等の公共施設が多く立地する官庁街(シビックゾーン)として、災害時等には、この地域だけでなく、杉並区全体の安全を支える防災中枢拠点となるべき地域であり、区内最大の交通結節点で都市活性化拠点に位置づけられる荻窪駅周辺とともに、杉並を代表する拠点です。

課題である防災性の向上や道路・交通体系の改善に取り組み、杉並の安全を支える防災中枢拠点としての充実を図るとともに、時代が変化しても、まちの特長は変わらず、さらに伸ばしていくことで、誰もが暮らしやすく愛着を感じ、住み続けたいと思えるまちを目指します。



阿佐ヶ谷駅等周辺では
まちの将来像を踏まえて、4つの目標を位置付けています。

■まちづくりの目標

目標Ⅰ
安全・安心なまち
災害に強い

I. 防災の方針

首都直下地震に備え、燃えにくく倒れにくいまちづくりや災害時の活動に必要な道路空間等の確保、地域防災力の強化等に総合的に取り組めます。

目標Ⅱ
しやすいまち
体系的な道路・交通が整備された移動

II. 道路・交通の方針

Iで示した防災性の向上とあわせ、利便性や交通の安全性の向上等の観点から、中杉通りの延伸や生活道路の整備等を推進します。また、中杉通りや駅周辺商店街等で、歩行者と自転車にやさしい環境づくりを進めます。

目標Ⅲ
回遊したくなるまち
来街者が集いさらに高まり、区民やにぎわいや利便性が

III. 商業・生活サービスの方針

中杉通りの景観や界隈性(※)のある商店街の特性をより生かしながら、商店街の一層の個性・魅力づくりやにぎわいの連続性の確保、回遊性の向上や憩いの空間づくり等に取り組み、駅周辺の高い利便性とその後背にある良好な住宅地とが調和したまちづくりを目指します。
(※)界隈性:生活に密着した個性的な雰囲気

目標Ⅳ
誇れるまち
みどり豊かで美しい景観を

IV. みどり・景観・環境の方針

オープンスペースやみどりの創出を図るとともに、まとまった樹林地の保全や魅力的な街並みの形成等に取り組めます。

取組Ⅰ① 延焼遮断帯・避難路等の整備

取組Ⅰ② 主要生活道路等の拡幅整備等

取組Ⅰ③ 狭あい道路拡幅整備の推進

取組Ⅰ④ 防災拠点等の整備・充実

取組Ⅰ⑤ 防災広場等の整備

取組Ⅰ⑥ 市街地の耐震化、不燃化の推進

取組Ⅰ⑦ 避難・救急活動等を円滑にする空間づくり

取組Ⅰ⑧ 地域防災力の強化

取組Ⅱ① 中杉通りの延伸整備と新規バスルートの検討

取組Ⅱ② 中杉通りの歩行者・自転車通行空間の改善

取組Ⅱ③ 生活道路の整備等

取組Ⅱ④ 交通結節機能の改善・強化

取組Ⅱ⑤ 交差点部等の安全対策の充実

取組Ⅱ⑥ 自転車の走行マナーの改善

取組Ⅲ① 公共施設等の更新にあわせた拠点機能の向上

取組Ⅲ② 商業・業務機能の維持・充実

取組Ⅲ③ 安全・快適な買物環境の確保

取組Ⅲ④ 駐輪場・駐車場の整備

取組Ⅲ⑤ 地域資源を生かした観光促進・地域活性化

取組Ⅳ① まとまった樹林地の保全

取組Ⅳ② 民有地や公共施設におけるみどりの保全・創出

取組Ⅳ③ 中杉通りのケヤキ並木の保全と魅力的な街並み形成

取組Ⅳ④ 駅前にふさわしい街並みの形成

取組Ⅳ⑤ 公園・広場の整備

取組Ⅳ⑥ 水路等を活用した遊歩道ネットワークの整備



2. (2) 進め方について

◆ 「新たな視点」を踏まえ、まちの将来像の更新

これまで開催した懇談会やテーマ別部会の中で、まちの将来像や目標について意見交換していただきました。

今回は以下の3つの「新たな視点」を踏まえて、まちの将来像の更新をしていただきたいと思います。

「新たな視点」

- ① 新型コロナウイルスという新たな感染症の出現によって、人々の価値観や暮らしそのものに大きな質的変化をもたらされようとしていること。
- ② 高齢者や障害者の方など移動弱者の視点も取り入れた意見交換を進めるようにしたこと。
- ③ 第4回懇談会(オンライン)開催以降、西荻窪駅周辺まちづくり方針策定に向けた、議論の前提を改めて確認させていただいたこと。

2. (2) 進め方について

◆ 懇談会の進め方

第6回懇談会の目標到達点は、方針策定までの検討の流れであるステップ1「まちの将来像」を検討していきます。

以下の流れに沿って、各班でキーワードを提案・組み合わせ、
「一言で表すまちの将来像」を考えていただき、その後、班同士で意見交換をしていただきます。

～進め方の流れ～

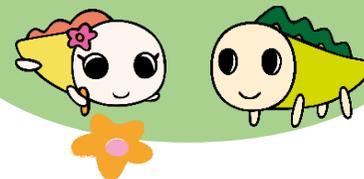
6班程度に
班分け

各班の中で
意見交換

各班の考え
発表



班同士の意見交換



2. (2) 進め方について ～班ごとに意見交換～

イメージをいくつかの短い文章にまとめましょう

【お願い】
あとで丁寧に振り返るため、
班ごとに録音させてください。
他の用途では使いません。

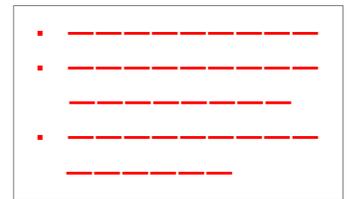
西荻窪駅周辺のまちづくりで、
「大切にしたいと思うこと」を
教えてください。

将来像をいくつかの短い
文章にまとめます

余裕があったら、
地図も使って
みましょう



- 4) 最初は「一言自己紹介」しましょう
- 5) 一人ずつ、3、4分で西荻窪のまちの「将来イメージ」を教えてください。



- 6) ファシリテーターがみなさんのご意見をお聞きしながら整理のお手伝いします。
- 7) 3つくらいの短文にまとめましょう。

2. (2) 進め方について ～成果の振り返り～

各班で出された「まちの目指すべき将来像に欠かせないキーワード」

A班	B班	C班	D班	E班	F班
<ul style="list-style-type: none"> ・(今の)まちのイメージ ・暮らしやすい ・安心 ・歩行者 ・保全 ・緑 ・来訪者 ・インバウンド ・情報発信 ・空家活用 ・祭り 	<ul style="list-style-type: none"> ・継承 ・お店(営業) ・バリアフリー ・安全・防犯 ・交流・連携・つながり ・文化・個性 ・教育・育てる ・続ける ・気遣い 	<ul style="list-style-type: none"> ・らしさ ・個性 ・調和 ・安心・安全 ・互いに支える ・緑 ・残す ・継承する 	<ul style="list-style-type: none"> ・人 ・まちの賑わい ・バリアフリー ・マナー ・安全・安心 ・個性 ・適度なサイズ感 ・流動性・多様性 ・調和 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由 ・適度な規模 ・つなげる ・安心・優しい ・寛容 ・つなぐ ・続ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・西荻らしさ ・コンパクト ・安全・安心 ・バリアフリー ・子ども ・人と人との思いやり ・マナー ・匠 ・古き良き・歴史 ・自分たちで

まちづくりだよりNo.2より「テーマ別部会の検討成果」

- 各班で出されたキーワードのうち共通するキーワードを見ると、参加者の方々が以下のような将来イメージを描かれていることがわかりました。

・今のまち(らしさ)が残る(続く)まち
 ・安心・安全なまち

・暮らしやすいコンパクトなまち
 ・人(歩行者)に優しい人が中心のまち

2. (2) 進め方について ～成果の振り返り～

テーマ別部会の検討成果

「付加価値を生むまちづくり」 参加者から出た項目 ●「人の集まる場づくり」 ●「イベントづくり」 ●「西荻の魅力とは」 ●「情報発信のプラットフォーム」	「暮らしやすいまちづくり」 参加者から出た項目 ●「今の暮らしやすさの維持」 ●「コミュニティによる安心づくり」 ●「空き家(室)・店舗の活用」 ●「空き地・スペースの活用」	「安心・安全なまちづくり」 参加者から出た項目 ●「交通安全対策」 ●「地域での防犯対策の推進」 ●「防災性の強化」
<p>まとめ：「付加価値を生むまちづくり」を実現するために</p> <p>【人の集まる場づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○点と点をつなぐ仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが参加できる『話し合いの場づくり』 ・誰もが気軽に使える『活動の場づくり』 ○駅を利用している人たちが立ち寄れる場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・参加する人が楽しめるイベントづくり ・各商店が事業継承される仕組みづくり ○人とのつながりによる体制づくり <ul style="list-style-type: none"> ・参加しやすいコミュニティづくり ・商店街や町会を超えたつながりづくり ・地区外とのつながりづくり <p>【イベントづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○西荻らしいイベントの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・参加しやすいイベント ・小規模なイベント ・西荻の魅力(音楽)と飲食のコラボレーション ○情報発信・共有によるつながりづくり <ul style="list-style-type: none"> ・参加者とのつながりづくり ・支援者(出資者)とのつながりづくり <p>【西荻の魅力とは】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○個人店が多い地域特性を活かしたまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・地域の情報発信 ・起業(支援)や空き店舗の活用 ・空き店舗と個人店をつなぐ仕組みづくり ○若者のやる気を引き出すづくり <ul style="list-style-type: none"> ・(若者の多様性を応援する) 仕組みづくり ・働きスペースの活用 <p>【情報発信のプラットフォーム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○まちの課題、発信した情報の収集 <ul style="list-style-type: none"> ・人の興味を引く魅力的な情報の発信 ○まちなかでの情報発信の拠点づくり <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信の拠点づくりの促進 ○情報発信の継続的な取り組み促進 <ul style="list-style-type: none"> ・人の確保 ・場所の確保 ・システムづくり 	<p>まとめ：「暮らしやすいまちづくり」を実現するために</p> <p>【今の暮らしやすさの維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○誰もが歩きやすい道づくり <ul style="list-style-type: none"> ・歩きやすい環境整備(リニアフリー・無電柱化等) ・災害に対応できるインフラや狭あい道路の整備 ○誰もが安心できる場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・施設の防災拠点化=「集まれる場づくり」 <p>【コミュニティによる安心づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○誰もが安心して過ごせるまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・寝て休める場所づくり ・誰もが安全に通行できる段差の少ないまち ○みどり豊かな良好な住環境の保全・育成 <ul style="list-style-type: none"> ・軸となるみどり ・にぎわいとしてのみどりを確保(公園等) ○地域住民のコミュニティ促進 <ul style="list-style-type: none"> ・盛りやすく線ある、くつろげる場づくり ・まちの動きに関連する情報発信・共有 <p>【空き家(室)・店舗の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○情報を集約するプラットフォームづくり <ul style="list-style-type: none"> ・まちを活性化するためのしくみづくり ・『まちかど案内』の設置 ○空間(部屋、建物)の有効活用 <ul style="list-style-type: none"> ・マルシェ ・まちかど休憩所 ・NPOなどの活動拠点 ・シェアオフィス ・子育て世代など多世代を対象とした多目的スペース ・留学生向け下宿 <p>【空き地・スペースの活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○まちなかの小さな菜園づくり <ul style="list-style-type: none"> ・小さな空間(花壇や車道と歩道の間等)の活用 ・街なか公園としての活用 ○ゆるやかなコミュニティづくり <ul style="list-style-type: none"> ・少額出資することによる参加者層の向上 ・収穫物を活用したイベント等の出会いの場・交流づくり 	<p>まとめ：「安心・安全なまちづくり」を実現するために</p> <p>【交通安全対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○歩行者に優しいまちづくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者の安全に視点を置いた交通ルール ・神明通りを中心とした車両スピードの抑制の工夫 ・歩行者に優しい道路づくり ○安全な道路空間の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・自動車、自転車の歩行空間の確保 ・看板設置抑制による道路空間確保 ・道路沿道店舗におけるかけ看板の飛散防止 ・はみ出し等の違法駐車規制 ・搬入・搬出時(荷割き)の路上駐車対策 ○交通マナー・ルール(自動車、自転車、歩行者の向上) <ul style="list-style-type: none"> ・交通ルールや自転車運転マナー教室・対策 ・大人向けの交通安全パンフレット配布 <p>【地域での防犯対策の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○犯罪が起きないまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・地域のつながりによる防犯力の強化 ○治安力の向上と治安の維持 <ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラ設置等による治安力の向上 ・治安の維持のための(危険箇所)点検マップ作成 <p>【防災性の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○危険箇所の点検、マップづくり <ul style="list-style-type: none"> ・災害危険箇所の把握 ・防災マップの作成 ○ブロック塀の倒壊防止 <ul style="list-style-type: none"> ・倒壊の危険性のあるブロック塀の把握 ・ブロック塀の撤去推進・設備防止 ○街中への災害対応型ベンチ(かまど、トイレなど)の導入 <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺や地域の公園での災害対応型 ○地域における共助の取組み推進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域での共助の取組み啓発

個性と魅力ある西荻窪。さらに素敵なまちにしていきましょう！



2. (3) 意見交換

班ごとに意見交換 (40分)

2. (3) 意見交換

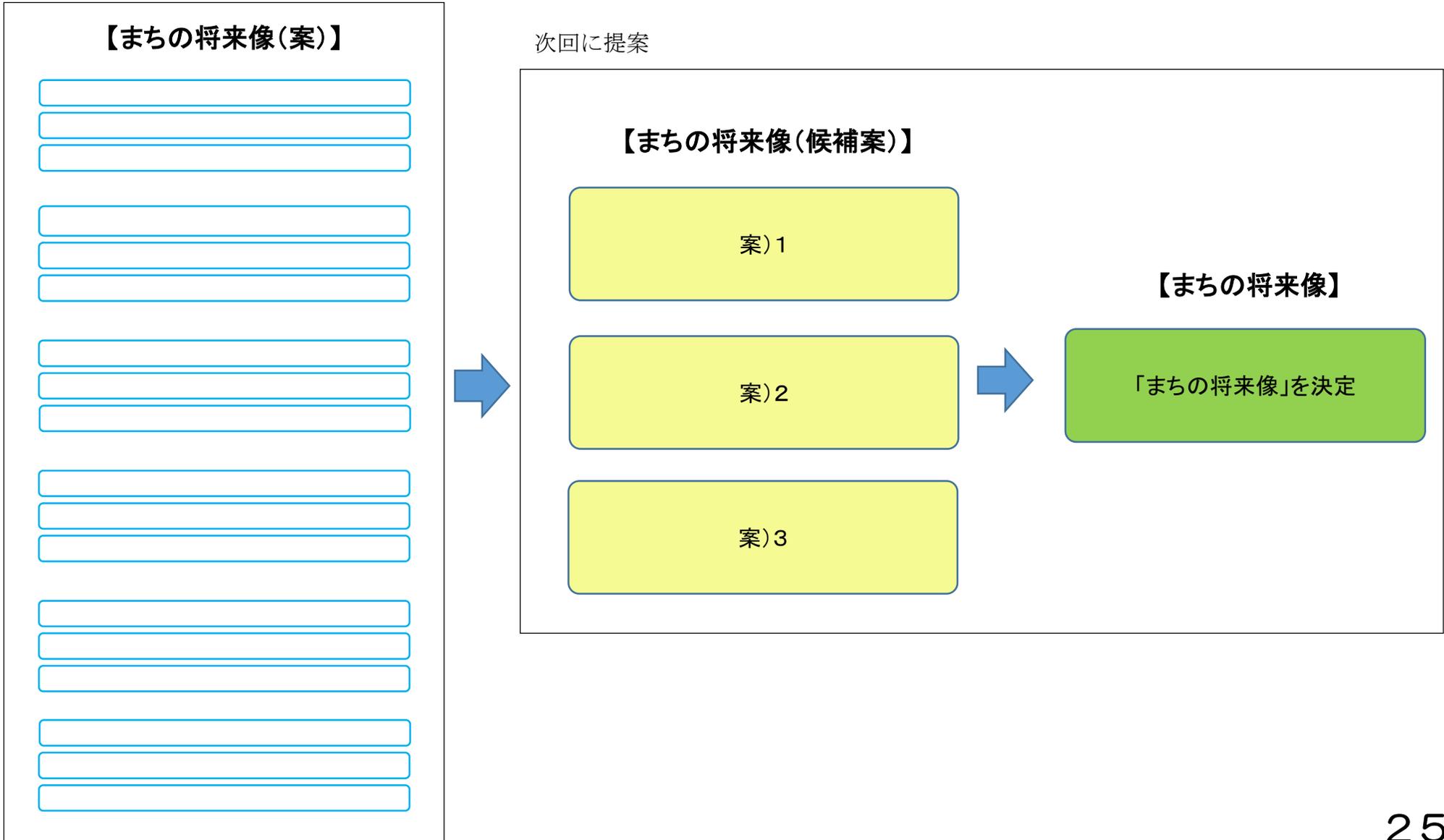
各班の発表 (20分)

2. (3) 意見交換

班同士の意見交換 (20分)

2. (3)意見交換 ～成果のまとめ方～

第6回懇談会



3. 今後の進め方(予定)について

1. (2)まちづくり懇談会等の取組経過

平成30年度より
懇談会開催

西荻窪駅周辺まちづくり懇談会等 開催

平成30年度	第1回 平成30年12月 9日	第2回 平成31年 2月 3日
令和元年度	第3回 令和元年 7月 6日	テーマ別部会 第1回～第3回
令和2年度	第4回(オンライン開催) 令和3年 3月21日	
令和3年度	第5回 令和3年10月23日	

令和3年度～

令和3年度都市計画道路補助132号線パネル展示
(オープンハウス) 令和3年12月17・19日

現在

令和3年～ 引き続き懇談会を開催
・いただいたご意見の取りまとめ
・「まちの将来像」について意見交換
・「まちの目標」について意見交換 等

「西荻窪駅周辺まちづくり方針(たたき台・中間まとめ)」
について、意見交換及び取りまとめ

「西荻窪駅周辺まちづくり方針(案)」について、
意見交換及び取りまとめ

「西荻窪駅周辺まちづくり方針」の策定・公表 27

4. 閉 会

※ アンケートの提出をお願い致します。